

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立佐野台小学校 第6学年，全児童  
実施児童数（ 17 人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国より低く、下位層が多い。

平均正答率（本校 65.5 / 泉佐野市 70.3 / 大阪府 70.7 / 全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国より少し低く、上位層が少なく、中位層が多い。

平均正答率（本校 50.6 / 泉佐野市 51.9 / 大阪府 52.6 / 全国 55.5）

国語A	特徴がみられた設問
<p><b>【書くこと】</b></p> <p>○複数の事柄を並列の関係で書くことに課題がある 6一 「～たり，…たり」という表現に直して書く (58.8/74.9)</p> <p>○仮定の表現として適切なものを捉えることができている 6二 文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する (82.4/83.1)</p> <p><b>【読むこと】</b></p> <p>○新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えることに課題がある 4 新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する (58.8/71.7)</p> <p>○物語の登場人物の相互関係を捉えることに課題がある 5 物語の一部に入る適切な人物の名前を書く (58.8/65.3)</p>	<p><b>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</b></p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができている 1一（1）道路の<u>標識</u>を見る（→ひょうしき） (88.2/91.7)</p> <p>1一（2）<u>街灯</u>がつく（→がいとう） (94.1/87.0)</p> <p>1一（3）<u>勢</u>いよく走り出す（→いきお） (82.4/74.4)</p> <p>○出題された漢字によって、学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことに課題があるものもできているものがある 1二（1）料理をのせた<u>さら</u>を運ぶ（→皿） (100.0/97.8)</p> <p>1二（2）勝利を<u>いわ</u>う（→祝） (64.7/59.3)</p> <p>1二（3）<u>かぜ</u>を<u>よぼ</u>うする（→予防） (58.8/77.4)</p> <p>○故事成語の意味と使い方を理解することに課題がある 2一 故事成語の使い方として適切なものを選択する (29.4/55.8)</p> <p>2二 故事成語の使い方として適切なものを選択する (29.4/49.9)</p> <p>○情景描写の効果を捉えることに課題がある 3 情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する (29.4/58.7)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【読むこと】</p> <p>○詩の選択における着眼点の違いを捉える事はできている</p> <p>3二 【詩2】に対する山田さんの解釈として適切な物を選択する (58.8/48.5)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○質問の意図を捉えることに課題がある</p> <p>1二 林さん⑤の質問の狙いとして適切なものを選択する (52.9/60.2)</p> <p>○立場を明確にして、質問や意見を述べる事に課題がある</p> <p>1三 大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く (5.9/28.3)</p>	<p>○分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係づけながらまとめて書くことに課題がある</p> <p>2二 付箋の内容を関係づけて、野口さんのまとめを書く (11.8/26.9)</p> <p>○課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読むことに課題がある</p> <p>2三 疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く (58.8/66.0)</p> <p>○二つの詩を読み比べて読み、表現の工夫を捉える事に課題があるものとできているものがある</p> <p>3一(1) 【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する (82.4/80.4)</p> <p>3一(2) 【詩2】の表現の特徴として適切なものを選択する (52.9/59.2)</p>

### 3. 学習状況調査より

質問項目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	47.0	59.2	◇	12.2
国語の勉強は大切だと思いますか	88.2	91.8		3.6
国語の授業の内容はよく分かりますか	70.6	80.1	◇	9.5
読書は好きですか	52.9	73.0	◇	20.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	64.7	87.4	◇	22.7
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	29.4	61.4	◇	32.0
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	41.1	58.5	◇	17.4
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	70.6	70.7		0.1
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	53.0	75.8	◇	22.8
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	52.9	76.1	◇	23.2
調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	76.5	85.5	◇	9.0
調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	76.5	50.6	○	25.9

○全体的に国語に対する苦手意識が高い。

○自分の思いは書くことができるが、条件に合わせて書くことに課題がある。

○調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）に関しては、+25.9%となっているが、無解答率が高いため、時間があまった可能性がある。

○読書が好きと答えている児童が少ない。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は上位層から低位層までほぼ均等で、全国と比べ上位層が少なく、低位層が多く分布している。 平均正答率（本校 66.1／泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は上位・中位・低位と3つに区分され、全国に比べると低位層に偏りがある。 平均正答率（本校 42.5／泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b></p> <p>○繰り下がりのある加法の計算をすることに課題がある。 1（1）<math>46 + 57</math>を計算する。 (88.2/96.9)</p> <p>○被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることはできている。 1（2）<math>903 \times 6</math>を計算する。 (100/92.8)</p> <p>○商が小数になる除法の計算をすることは概ねできている。 1（4）<math>2 \div 5</math>を計算する。 (94.1/91.8)</p> <p>○異分母の分数の加法の計算をすることに課題がある。 1（6）<math>1/3 + 2/5</math>を計算する。 (58.8/90.6)</p> <p>○割合が1より大きい場合、比較量の求め方が（基準量）<math>\times</math>（割合）になることの理解に課題がある。 2（1）示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ（80cm）の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ。 (52.9/71.9)</p> <p>○割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）<math>\times</math>（割合）になることの理解に課題がある。 2（2）示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ（80cm）の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ。 (29.4/54.1)</p> <p>○分数の相等及び大小についての理解に課題がある 3 示された分数の中から、<math>1/2</math>より大きいものを選ぶ。 (64.7/72.6)</p>	<p><b>【量と数量】</b></p> <p>○二つの数量の関係について、単位量当たりの大きさを調べる場面と図とを関連付けることに課題がある。 4（1）<math>8m^2</math>に16人いるAの部屋の様子を表している図を選ぶ。 (64.7/82.3)</p> <p>○単位量当たりの大きさの求め方の理解に課題がある。 4（2）<math>8m^2</math>に16人いるAの部屋について、<math>1m^2</math>当たりの人数を求める式を書く。 (47.1/60.8)</p> <p><b>【図形】</b></p> <p>○円周の長さを、直径の長さを用いて求めることに課題がある。 5（1）直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く (58.8/83.9)</p> <p>○作図に用いられている図形の約束や性質の理解に課題がある。 6 コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ (23.5/52.0)</p> <p>○立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係についての理解に課題がある。 7 縦5cm、横11cm、高さ4cmの直方体の面㊦になる四角形を選ぶ。 (41.2/69.4)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b></p> <p>○示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述することに課題がある。</p> <p>1 (2) 二人の説明を基に、<math>37 \times 24</math>の積が888になることを書く。(29.4/55.2)</p> <p>○示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求めることに課題がある。</p> <p>2 (1) 6・7月の水の使用量1500m<sup>3</sup>は、プールに入る水の量250m<sup>3</sup>の何倍かを求める。(70.6/82.5)</p> <p>○10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することができる。</p> <p>3 (2) 40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ(47.1/56.7)</p> <p>○繰り返されるリズムの規則性(周期)を見だしそれを基に小節数を求めることに課題がある。</p> <p>4 (1) ㉗のリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く。(41.2/62.2)</p> <p>○二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述することに課題がある。</p> <p>4 (2) 二人の㉘のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く。(52.9/60.5)</p> <p>○示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することに課題がある。</p> <p>5 (2) 使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ。(23.5/46.1)</p> <p>○示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。</p> <p>5 (3) 妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く。(17.6/33.0)</p>	<p><b>【量と数量】</b></p> <p>○最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述することに課題がある。</p> <p>2 (2) 1目盛りを50m<sup>3</sup>として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの枠の中に入らない月を選び、そのわけを書く。(47.1/69.1)</p> <p>○示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。</p> <p>3 (1) 昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く。(29.4/38.6)</p> <p>○示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。</p> <p>3 (3) 示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。(5.9/30.6)</p> <p><b>【図形】</b></p> <p>○示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることに課題がある。</p> <p>5 (1) 畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかく。(41.2/65.7)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	64.7	66.1		1.4
算数の勉強は大切だと思いますか	82.4	92.3	◇	9.9
算数の授業の内容はよく分かりますか	76.4	79.6		3.2
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	82.3	77.3	◇	5.0
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	88.2	78.1	○	10.1
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	58.8	66.3	◇	7.5
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	82.3	89.0	◇	6.7
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか	82.3	79.4		2.9
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	76.5	81.3		4.8
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか	82.4	83.4		1.0
今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	58.8	79.7	○	20.9
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)	76.4	89.4	○	13.0
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	64.7	76.4	○	11.7

○分からない問題に出会ったときに別解を考えたり、より簡単に解く方法を考えたりするという意欲的な意見が多い。

○算数で学習したことを、実生活や将来に役立てようとあまりしていない。

○記述式の問題に対する苦手意識がある。

○調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)に関して、全国より-13.0%となっはいるが、無回答はほぼなかった。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○毎日同時刻に起床就寝することについて全国を下回っている。	○毎日同じぐらいの時刻に寝ている。 <u>&lt;58.8/79.2&gt;</u> ○毎日同じぐらいの時刻に起きている。 <82.4/90.9>
	○テレビ・ゲーム・携帯に3時間以上費やしている児童の割合が高く、全国を上回っている。	○普段1日あたり3時間以上テレビ・ビデオ・DVDを見る。 <u>&lt;70.6/38.0&gt;</u> ○普段一日あたり3時間以上テレビゲームをする。 <23.5/17.0> ○普段一日あたり2時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール・インターネットをしている。 <17.7/8.7>
	○地域との交流が多く行事参加は全国を上回っている。	○今住んでいる地域の行事に参加している。 <u>&lt;94.1/68.0&gt;</u>
	○読書は好きでない傾向があり、図書館・室の利用も少なく、全国を下回っている。	○読書は好きだ。 <u>&lt;52.9/73.0&gt;</u> ○本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室・地域図書館にほとんど、または全くいかない。 <u>&lt;52.9/29.2&gt;</u>
【家庭学習の様子】	○予習復習の状況は全国を下回っている。	○家で学校の予習をしている。 <17.7/43.2> ○家で学校の復習をしている。 <u>&lt;35.5/54.0&gt;</u>
	○学校の授業以外の勉強時間や休みの日の勉強時間が2時間未満の児童の割合が多く、全国を上回っている。宿題をしている割合は全国を下回っている。	○学校の授業以外の勉強時間が2時間未満である。 <47.1/37.9> ○休みの日の勉強時間が2時間未満である。 <88.2/75.9> ○学校の宿題をしている。 <u>&lt;82.4/98.5&gt;</u>



<p>【学校での 学習の様子】</p>	<p>○学校のきまりに関して、校内では守られているが、全国を下回っている。</p> <p>○国語では文章を書く・読んで理解することが全国に比べ下回っており、算数の文章問題についても、途中で諦める傾向が高い。</p>	<p>○学校のきまりを守っている。 &lt;82.4/90.5&gt;</p> <p>○400字詰め原稿用紙2~3枚の感想分や説明文を書くことは難しいと思う。 &lt;70.5/63.4&gt;</p> <p>○国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる。 &lt;53.0/75.8&gt;</p> <p>○算数の問題の解き方が分からない時は、諦めずにいろいろな方法を考える。 &lt;88.2/78.1&gt;</p> <p>○算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。 &lt;82.3/79.4&gt;</p> <p>○今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、全く問題を解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた。 &lt;41.2/18.1&gt;</p>
-------------------------	---	---

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

本校は、この6年間に食育・基礎学力の定着・国語の授業研究に取り組んできた。また、地域との交流が盛んで、地域と学校をつなぐ行事も多く、地域ぐるみで児童の成長を見守っている。さらに、幅広い分野での体験活動を行うため、外部講師（留学生・音楽専門家・材木専門家・落語家等）と児童がふれあう機会も多く設定している。1年～6年の児童は縦割り活動等の集団づくりを通して、学年をこえて仲良く学校生活を送っている。6年生の校内での奉仕活動も大変積極的であり、低学年の手助けを進んでするなどの実践的な力が強い。

6年生は、1年生から食育指導を受け、朝食摂取の大切さを学んできた。朝食を食べている児童が全国より多い理由だと考えられる。しかし、テレビ・ゲーム・携帯に3時間以上費やしている児童が多い状況にある。

基礎学力の定着として、平成23年度より佐野台小学校では家庭学習の時間を確保できるよう「家スタ」の取組みを進めてきた。「家スタ」を通して育てて欲しい姿として、「自ら学ぼうとする子」、「深く考えたり工夫をしたりする子」、「学習の計画を作れる子」を掲げ、家庭学習を推進している。1年生では30分、2年生は40分、……、6年生は80分と、家庭での学習時間の目標を定め、家庭学習の習慣づけを行っている。高学年の保護者からは、「(取組みがはじまる前の) 兄姉と比べ、家では学習する時間を取るものという認識を持つようになってきているので、中学生になるにあたり安心している」との声もある。「家スタ」を推し進めてきた成果といえる。

国語の授業研究では、自分の意見を発表し、それを互いに訊き合う活動を重点に置き学習を進めている。6年生は国語の授業研究をはじめて4年目であるので、発表の形で自分の意思を相手に伝えることが得意である。また、算数では基礎基本であるかけ算・わり算を定着させるため、毎日宿題に出すなどしている。しかし、国語では、文章を書く・読んで理解する分野において全国と比べ下回っていることや、算数の文章問題において途中で諦める傾向が全国と比べ高いという現状がある。

### ◎これからの取組み

本校は地域ぐるみで児童の成長を見守っており、本校の取組みである「家スタ」についても、家庭との協力のもと進めることができている。しかし、「予習・復習をしている児童」の割合が全国を下回っており、まだまだ不十分な点も多い。現状の子どもたちの姿を振り返り、子どもにつけたい力を見据えた上で、「家スタ」を一層充実したものになるよう進めていきたい。

また児童質問紙より、「読書は好きでない児童、図書館・図書室を利用する児童」の割合が全国に比べ下回っている。現在、本校では毎週金曜日に司書の先生に来て頂き、蔵書の管理や新しく学校図書館に入れる蔵書について助言を頂いている。今後は、本を読む楽しさを知ったり、図書館に足を運んだりできるよう、司書の先生と連携を取りながら図書の時間を有効に活用していきたい。また、蔵書の充実も進めたい。

基礎学力の定着を確固たるものにするためにも、くりかえしプリント（力だめしプリント）で復習していくことが大切だと考える。特に算数においては、同じ問題を何度も繰り返すことで定着すると考えられるので、何度も基礎的な問題にふれさせたい。あわせて授業においても改善を図る必要がある。国語以外の教科においても、自分の意見や考えを書いてまとめる場面を多く設定したい。全学年で実施している日記を書く活動も活用しながら、条件にあった文を書くということに慣れさせていきたい。